

# 広島バス株式会社 実証運行の取り組みについて



# 広島バスについて

◆創 業：1950年 車両数：約200台 従業員：約400名

◆系統数：約70系統

◆1日の利用者数：約45,000人

◆最近の出来事：

- ・ 2023年4月に全体で約20%の減便を実施。
- ・ エディオンピースウイング広島への乗り入れを開始。



# 実証運行の取り組み

- ◆対象路線：29号線（矢賀経由）
- ◆運行目的：フィーダー化による増便。  
29号の矢賀経由を広電温品車庫へ乗入れ、広電バスの2-7号線へお乗りいただく。
- ◆運行期間：2023年12月1日～12月28日
- ◆運行時間：概ね9時～16時台

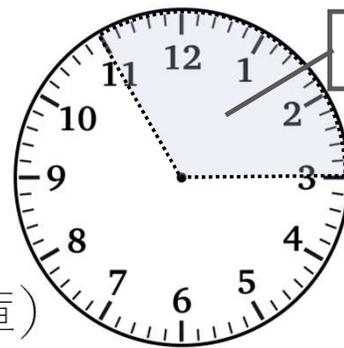


# 実証運行のねらい

◆4月改正で減便&運行空白時間帯ができており、フィーダー化により増便することで利用者の変化をみるもの。

<初めての試み>

- ・ 直通乗継運賃
- ・ 車庫でフィーダー（広電温品車庫）
- ・ 運行空白時間での増便
- ・ 広島市と協力して各世帯へDMを送付（約2万世帯）

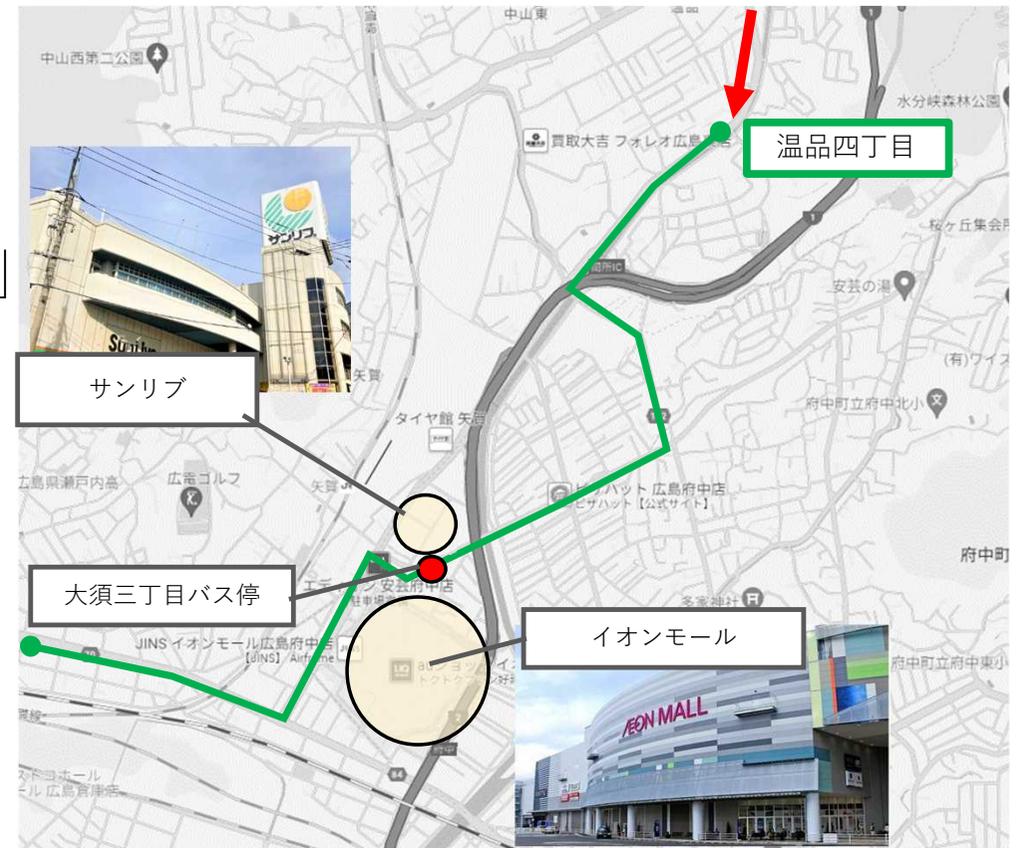


# 沿線施設について

◆ 「大須三丁目」バス停付近には、  
高齢者に人気の「サンリブ」や、  
西日本最大級の「イオンモール広島府中」  
が立地。

➤ 仮説

- ・ 商業施設周辺の乗降が増。



広島バス株式会社 

# 実証運行中の様子



前日のベンチ設置作業

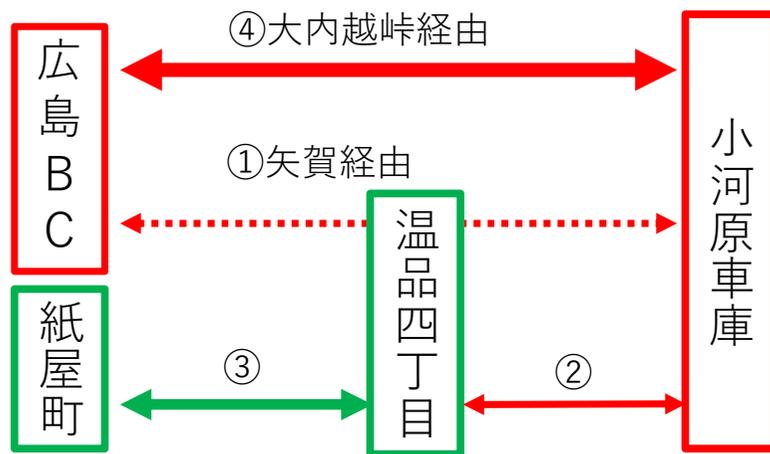


広電温品車庫での運行初日

# 運行便数比較

◆便数比較 ※概ね9時～16時台

系統名	2023年11月	2023年12月	増減
①広島BC⇔小河原車庫【矢賀経由】（広島バス）	9	4	-5
②温品四丁目⇔小河原車庫（広島バス）新規系統		14	+14
③紙屋町⇔温品四丁目（広電バス）	61	61	±0
④広島BC⇔小河原車庫【大内越峠】（広島バス）	53	53	±0



1日+43.3km増加（実車）

①広島BC～小河原車庫 = 減便

②温品四丁目～小河原車庫 = 増便

広島バス株式会社



# 実証運行結果

◆1日平均利用者数の変化 ※概ね9時～16時台

系統名	2023年11月	2023年12月	増減
①広島BC⇔小河原車庫【矢賀経由】（広島バス）	129.4	30.6	-98.8
②温品四丁目⇔小河原車庫（広島バス）新規系統		65.6	65.6
③紙屋町⇔温品四丁目（広電バス）			
④広島BC⇔小河原車庫【大内越峠】（広島バス）	1731	1792	+61
合計	1860.4	1888.2	+27.8 (+1.5%)

◆1日平均利用者数の乗降停留所（温品車庫などで乗継した場合）

バス停名	平均人数	割合
大須三丁目	23.1	63.6%
全体	36.3	100%

# 利用者 & 現場の声

## ◆利用者

- ・ 増便され助かる。
- ・ 足腰が悪く、乗継があると体に負担がかかる。
- ・ 接続がうまくいかないときがありその点は不便である。

## ◆現場

- ・ スムーズな乗継のために、広島バスの広電温品車庫への乗入時間等をそれぞれの運転者が把握しておく必要がある。
- ・ 広電温品車庫にて、広島バス側がどのタイミングでお客様をバスを乗せるか、運転者により差が出ている。



# 今後の課題

- ◆運行キロは伸びるが利用者は大きく増えていない。
  - 周知なのか、便数なのか、乗継の不便さなのか、目的地の見誤りなのか。
- ◆日中の利用者層は高齢者が多く、乗継させるよりサンリブやイオンモールへ直接乗入れや停車するなどしたほうが良かったのかもしれない。
- ◆運行期間が短く、今回の結果で評価をするのは材料が足りないのかも。

以上